

件 名	平成 26 年度第 1 回鹿児島市船舶事業経営審議会	作成課	船舶局総務課
日 時	平成 26 年 7 月 15 日(火) 14:00 ~ 15:30		
場 所	桜島港フェリーターミナル 3 階大会議室		
出席者	経営審議会委員 8 名 (欠席者 1 名)		
市出席者	船舶局長、次長、営業課長、船舶運航課長、関係職員		
協議・報告等	<p>審議事項</p> <p>(1) 平成 26 年度船舶事業特別会計予算について</p> <p>(2) 平成 26 年 4 月 1 日運賃改定後の状況報告について</p> <p>(3) 2014 桜島納涼観光船について</p>		
主な意見等	<p>昨年度から現在に至る燃料代の動向はどのようになっているのか。また、現在、建造中の新船が就航すると重油の使用量はどのようになるのか。</p> <p>運賃改定に係る検討の際は燃料代設定単価を昨年秋の税抜 82.39 円、平成 26 年度予算は昨年度一番高い時期、今年 1 月の単価の税抜 88.1 円を用いた。現在は、中東情勢の影響等により、税抜 88.7 円となっている。</p> <p>年間消費量を 430 万 で試算すると 5 円で 2,000 万円以上の影響が生じることになる。</p> <p>また、建造中の新船の就航により、これまでの一層積船舶から二層積船舶の電気推進船に替わるため、重油の消費量がどうなるかは簡単に見込めないが、運航ダイヤの改定等を検討しており、経費削減を図ることとしている。</p> <p>桜島・錦江湾ジオパークの誕生により、錦江湾魅力再発見クルーズは今後増便の予定はないのか、また、同クルーズの定員 250 人を 500 人なりに増やすことはできないのか。</p> <p>平成 25 年度は秋 8 回、26 年度は春 2 回を加え 10 回とした。建造中の新船は 6 時間航行できるので、そのような船の特徴を活かせるようなコースも今後検討していきたい。</p> <p>また、定員については、クルーズが約 2 時間半と長いので、高齢者や小さい子供が椅子に腰かけられるよう、また、天候や風の影響で 4 階デッキや 2 階車両甲板が使用できない場合でもお客様に迷惑をかけないように、いろいろ検討した結果、定員を 250 名としたところである。</p> <p>旅客数の状況については、例年 3 月と 4 月を比較するといずれも乗客数が 4 月に減少する傾向があることは分かった。次回の審議会では過去の 12 か月間の乗客数の状況と、今年のこの後の乗客数について報告してもらい、運賃改定の影響等を見ていきたい。</p> <p>建造中の新船について、今後、愛称が発表されるとのことであるが、市民からアイデアを出してもらうなどの取り組みとあわせて、経費削減も大事だがそれだけでなく、積極的に収益を上げていくためにどうしたらいいのかという観点も検討していただきたい。</p> <p>新船建造の検討にあたり、一般公募の意見を反映した主なものは。</p> <p>電気推進船の導入や、学会・コンベンションの開催ができるようにというような意見などを反映している。このほか四方の景色を眺めやすいようにとの意見により、売店やトイレを中央に集約して対応した。</p> <p>ただ、ソーラーパネルの活用に係る意見があったが、潮風や降灰の影響等により、各メーカーから推奨できないとのことであったため断念した。</p>		